

学校教育目標

日本国憲法、教育基本法
学校教育法、学習指導要領
学校図書館法 等

- ・よく考え、つくり出す子
- ・みんなと、ともにのびる子
- ・たくましく生きる子

多くの児童が読書好きで、朝読書などにも意欲的に取り組んでいる。しかし、調べ学習等で本や図書館を活用する機会はまだまだ少ない。

学校図書館の目標

様々な活動を通して、読書の楽しさや資料を活用することのよさを味わい、自ら学ぶ意欲と態度を育て、生涯学習の基礎を培う。

ね ら い

- ① 児童の読書意欲を盛んにし、豊かな心情と幅広い知識を身に付ける。
- ② 学び方指導を充実し、図書館活用の望ましい態度や技術を高める。
- ③ 多様な資料から目的に応じた情報を選び、課題解決を図り、情報活用能力を育成する。

指導の重点

- ① 教育課程全体を通して、計画的な読書活動と学校図書館の活用を推進する。
- ② 学校図書館を活用した教科等の学習の充実と情報活用能力の育成を図る。

各学年の重点目標

第一学年	<ul style="list-style-type: none"> ・やさしい読み物を楽しんで読もうとする。 ・図書館のきまりを理解し利用できる。 	第三学年	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な種類の本を読もうとする。 ・すすんで図書館を利用して調べようとする。 	第五学年	<ul style="list-style-type: none"> ・読書を通して知識を増やし、豊かな心情を育てる。 ・目的に応じて情報を選択し、活用する。
第二学年	<ul style="list-style-type: none"> ・やさしい読み物をすすんで読もうとする。 ・図書の扱い方や借り方など正しく利用できる。 	第四学年	<ul style="list-style-type: none"> ・読書の幅を広げ、すすんで読み、読書量を増やす。 ・参考図書や図書以外の資料を探す能力を育てる。 	第六学年	<ul style="list-style-type: none"> ・目的に合った適切な読み物を選び読む習慣を身に付けさせる。 ・学び方を身に付け、課題解決能力を高める。

具体的な取り組み

〔各教科〕

- 図書館機能を活用し、課題解決学習や調べ学習を通して、知識や情報の適切な収集・活用・表現の能力を身に付けさせる。

〔総合的な学習の時間〕

- 学び方や考え方を身に付けさせる。
- 課題の解決、探究に主体的に取り組ませる。
- 系統的に情報活用能力を育成する。

〔特別活動〕

- 図書委員会を中心に、自発的・自治的に図書館を運営し、読書活動推進を展開する。
- 特別活動の中で積極的に図書館を活用する。

朝読書の推進

図書環境の整備・充実

〔読書科〕

- 「ビブリオバトル」「ブックトーク」「読み聞かせ」等により読書の楽しさを味わい、読書習慣を身に付けさせる。
- 図書館資料を活用した「調べる学習」を行い、図書の分類法や百科事典の使い方等、発達段階に応じた知識を身に付ける。

〔特別の教科 道徳〕

- 様々な資料を通して自分の生き方と比較し、より良い自己を育もうとする意欲を育てる。

〔家庭・地域との連携〕

- ボランティアによる月一回の読み聞かせにより豊かな心情を養う。
- 地域の公立図書館と連携する。
- 書架の管理について、ボランティアや司書と連携する。